多宝塔

この明るい朱色の二重の塔は、高野山を登ったところにある巨大な根本大塔にそっくりです。中には阿弥陀如来（無限の光明と寿命を持つ仏）の像が祀られています。

多宝塔は、もともと高野山の開祖である空海という僧（諡号 弘法大師、774-835）が慈尊院を亡き母に捧げたときに空海自身によって建立されたと言われています。残念ながらもとの建物は焼失しており、現在の多宝塔は江戸時代（1603-1868）初期に建てられたものです。